



追加調査

能登半島地震からの 復旧・復興状況について

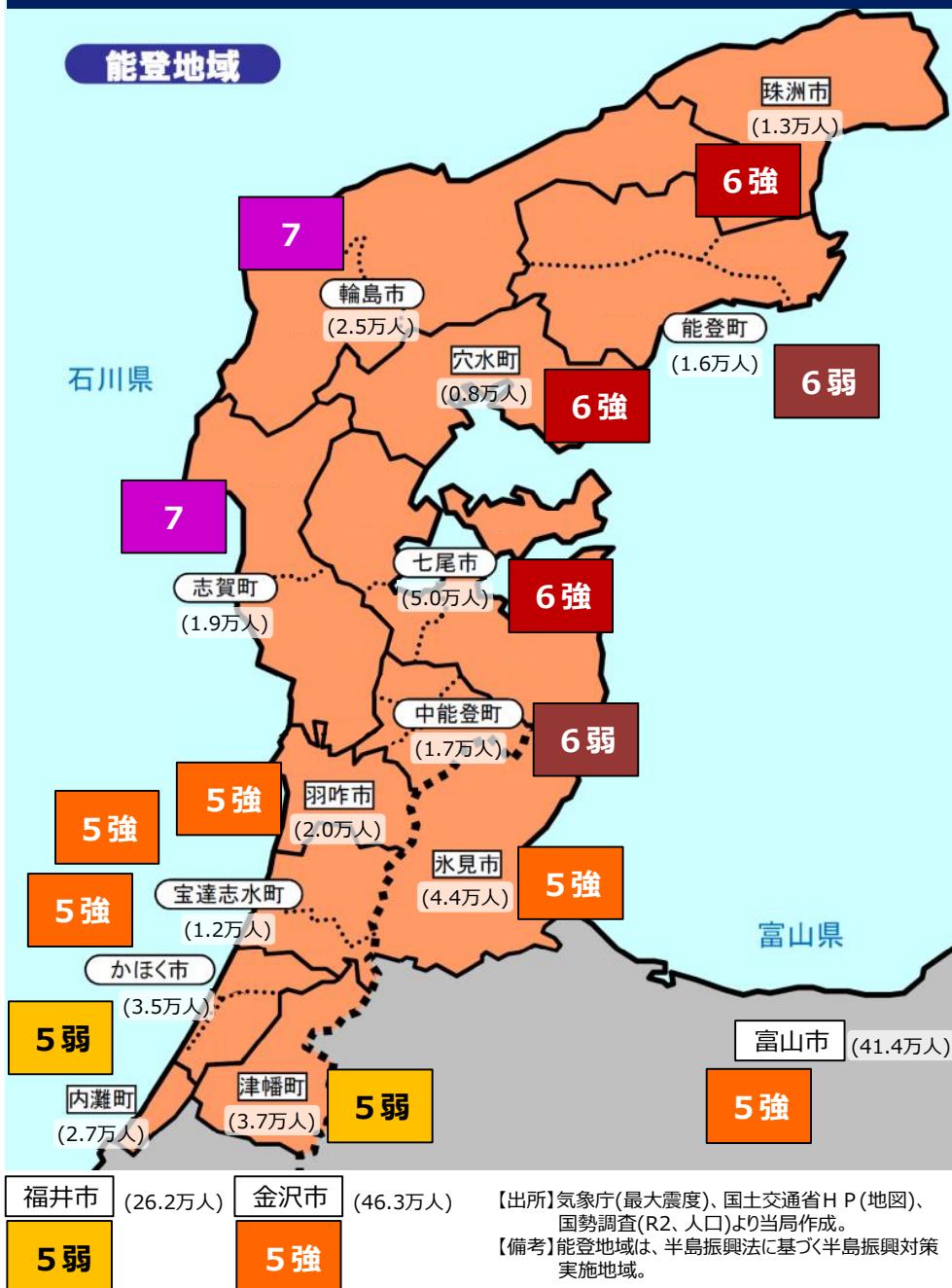
- 1 能登地域の概要と復旧・復興の全体像(指標)
- 2 産業別の復旧・復興状況
 - 観光地
 - 温泉地(輪島温泉郷・和倉温泉)
 - 伝統産業(輪島塗)
- 3 事例紹介

令和8年1月29日
北陸財務局

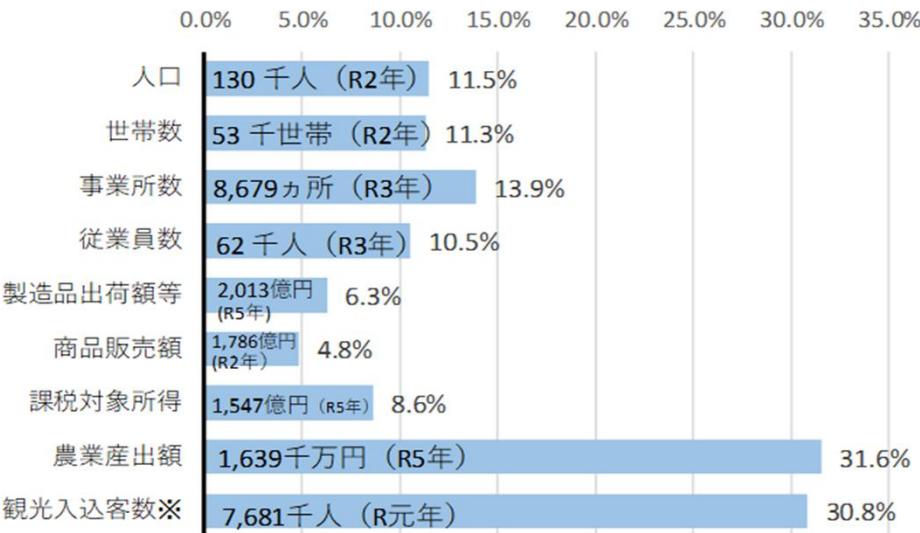
【お問合せ先】
財務省 北陸財務局 経済調査課
TEL (076) 292-7858

1 能登地域の概要と復旧・復興の全体像(指標)

■能登地域の概要



(1) 主な経済指標：能登6市町の県内経済シェアは約1割

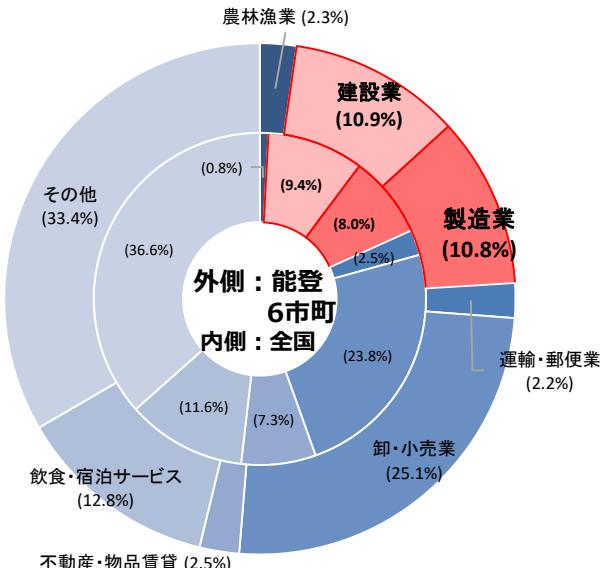


【出所】国土交通省、総務省、農林水産省、石川県資料より当局作成。

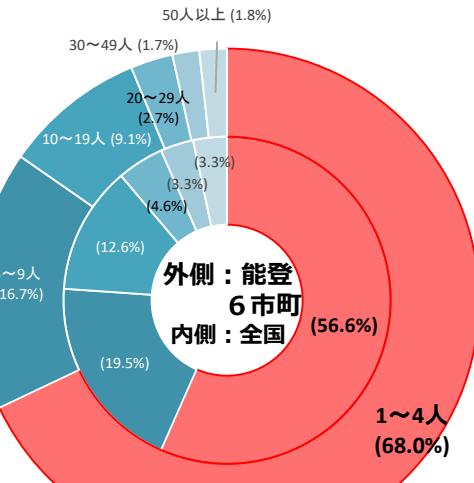
【備考】6市町：七尾市、輪島市、珠洲市、志賀町、穴水町、能登町（※観光入込客数の能登地域は宝達志水町以北）

(2) 産業構造：製造・建設業が多く、小規模事業所の比率が高い

① 事業所数 (構成比)



② 従業者数 (構成比)



【出所】総務省「経済センサス(R3)」より当局作成。

【備考】出向・派遣従業者のみの事業所を除く。

1 能登地域の概要と復旧・復興の全体像(指標)

1. 生活基盤の状況

- 住家被害が10万棟を超えるなか、2万人弱が仮設住宅等への入居を余儀なくされている
- 事業者の営業再開が進んでいるものの、本格的な営業再開に至っていない先も多いなど、厳しい状況が続いている

避難者数（避難所）	最大	現状
地震 (R6.1.1)	約42,800人	解消 (R7.4.1)
豪雨 (R6.9.21)	約1,560人	解消 (R7.4.13)
インフラの復旧	最大	現状
断水	約115.2千戸	解消 (R6.12.20)
道路通行止め	135箇所	13箇所 (R7.9末)
災害廃棄物処理量	(推計420万t)	288万t (R7.8末)
暮らしと住まいの再建	最大	現状
公費解体棟数	42,385棟(申請数)	解体完了 (R7.12末)
仮設住宅完成戸数	7,168戸	全戸完成済 (R7.3.28)
仮設住宅等への入居者数	21,935人 (R6.11.1)	19,532人 (R7.11.1)
生産の再建（能登6市町）	R6.12月末時点	現状
事業者の営業再開率	80%	88% (R7.9末)
宿泊施設営業稼働率	16.1% (R6.11末)	41.4% (R7.10末)

【出所】石川県資料より当局作成

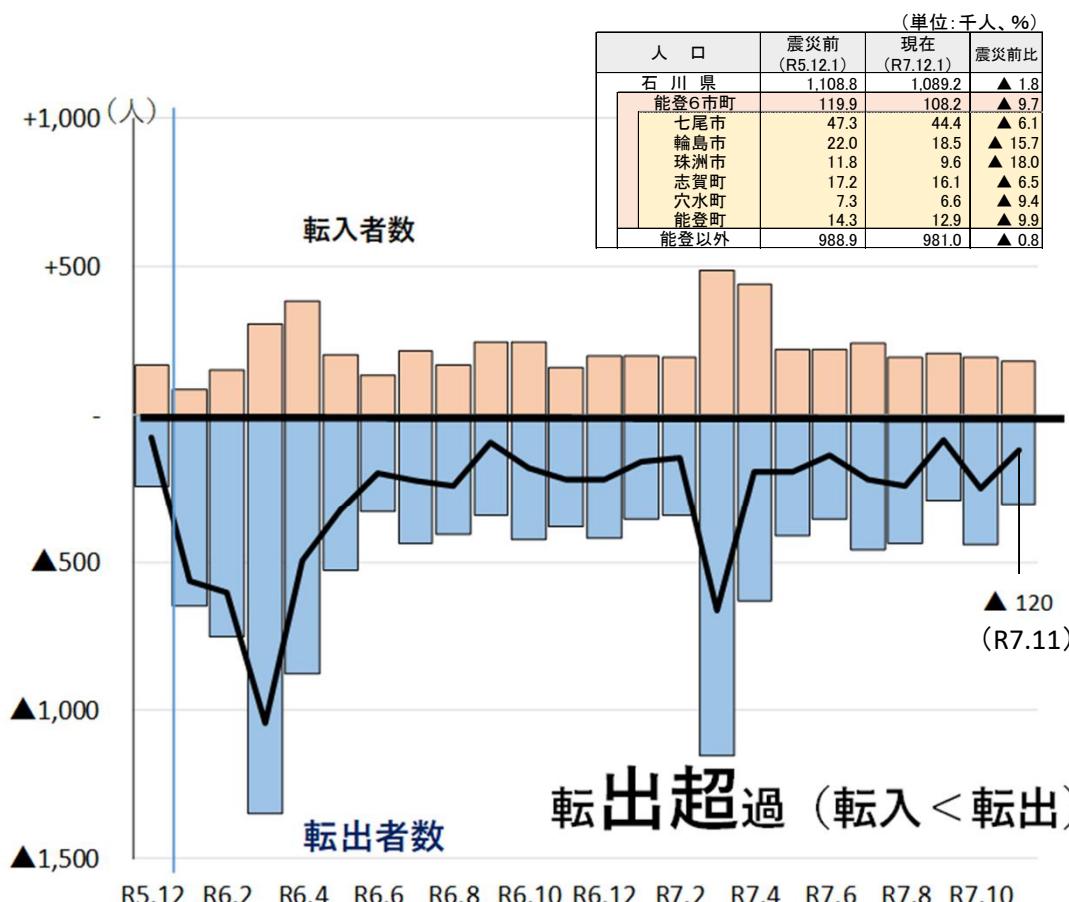
【備考】断水解消は、土砂崩れ等による復旧困難地区を除く

公費解体棟数は、別管理建物を除く

仮設住宅等への入居者数は、公営住宅、みなし仮設、建設型への入居者数

2. 人口推移（能登6市町：転入－転出）

- 転出超過が続いている、人口減少が進んでいる
- 特に、輪島市、珠洲市の減少幅が大きく、震災前（令和5年12月）比で15%超の減少となっている

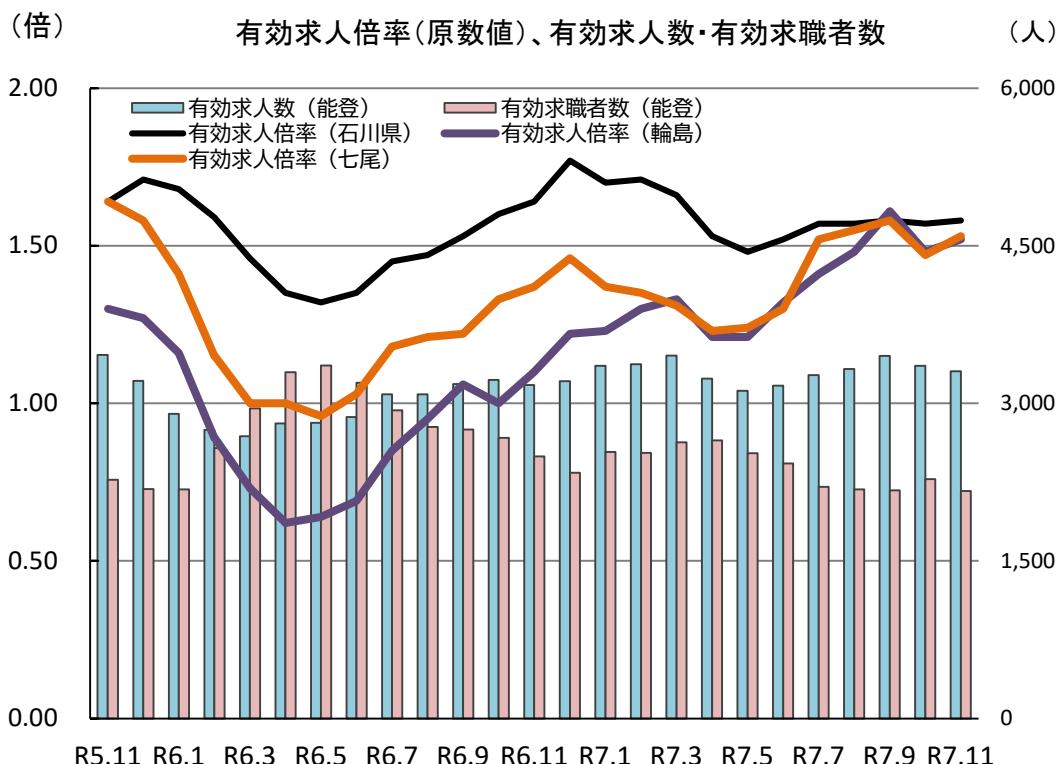


【出所】石川県「石川県の人口と世帯」より当局作成

1 能登地域の概要と復旧・復興の全体像(指標)

3. 雇用関連① (有効求人倍率、有効求人数・有効求職者数)

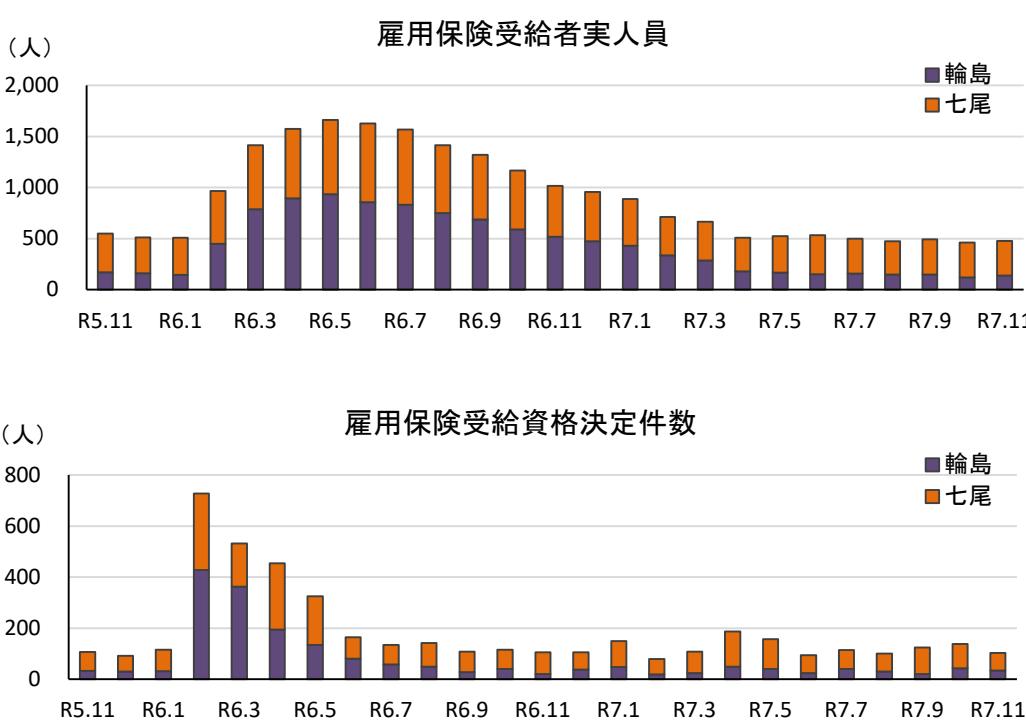
- 震災発生以降、有効求人数が減少した一方、有効求職数が増加し、有効求人倍率が低下。輪島所は1.0倍を大きく下回った
- その後、有効求人数増、有効求職者数減に転じ、足下11月は、有効求人倍率が1.5倍を超えるまで回復



【出所】 石川労働局「最近の雇用失業情勢、ハローワーク別業務月報」より当局作成
 【備考】 有効求人数・有効求職者数の能登は七尾、輪島の合計

4. 雇用関連② (雇用保険受給者実人員、受給資格決定件数)

- 雇用保険受給者実人員、雇用保険受給資格決定件数とともに、震災直後に大幅に増加
- 徐々に減少に転じ、足下11月は、震災前の水準に戻っている



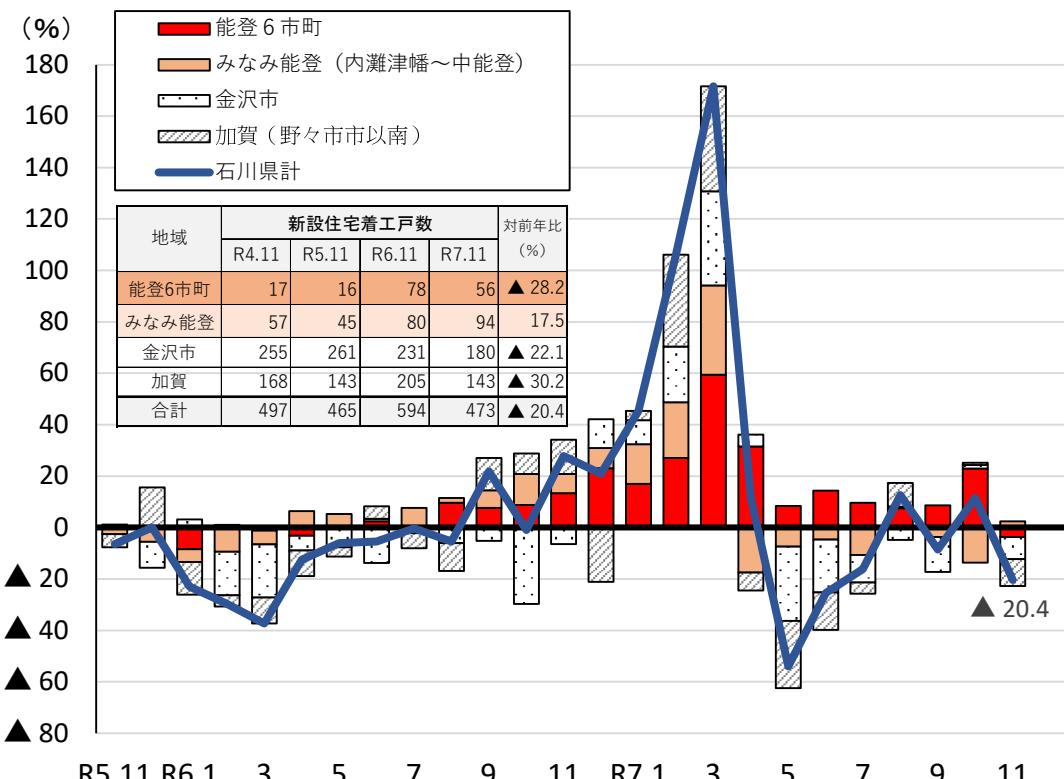
【出所】 石川労働局「ハローワーク別業務月報」より当局作成

- 被災地の求人・求職は数値面では回復も、産業構成が変化。七尾においては、宿泊・飲食は雇用面の本格回復には至っていない。製造が震災前より増加、建設・医療福祉は震災前の水準まで戻り高水準となっている。輪島では、復興関連の警備員需要が増加している。【石川労働局】
- 奥能登では過疎化が進んでいたなか、地震で若者を中心に人手が流出し求職者がさらに減少し、人手不足感が強まっている。【人材派遣】

1 能登地域の概要と復旧・復興の全体像(指標)

5. 新設住宅着工戸数（石川県）

- 能登6市町の新設住宅着工戸数は、令和6年8月以降、前年比増加が続いている
- 足下11月は、前年を下回ったものの、依然として能登6市町の着工戸数は高水準にある

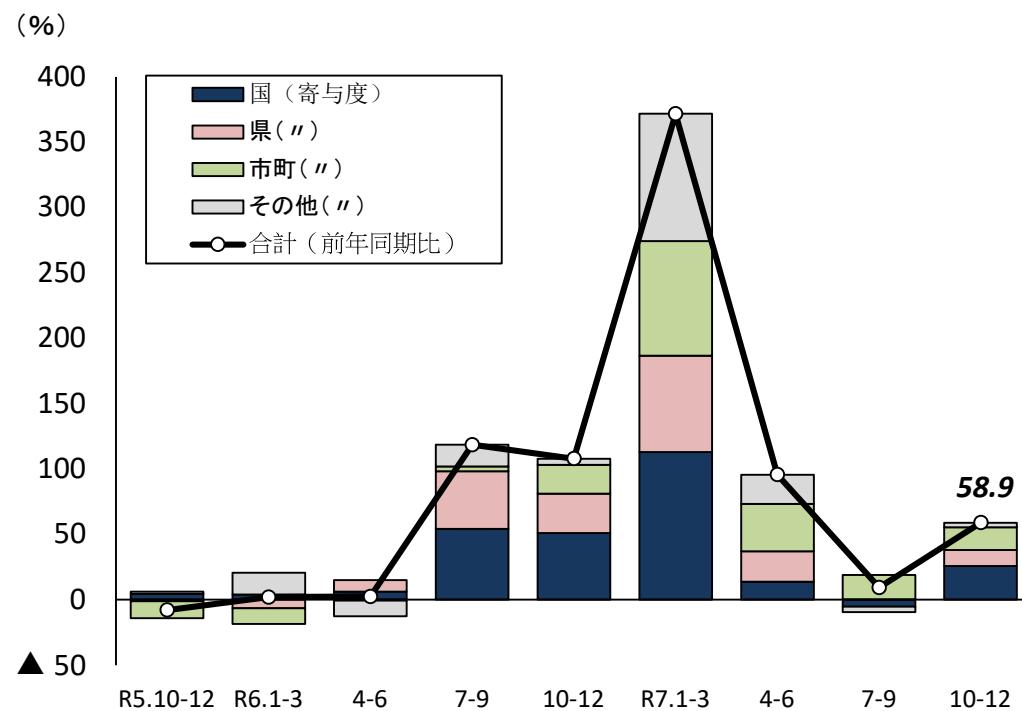


【出所】石川県HP「石川県新設住宅着工戸数、市町別新設住宅着工戸数」より当局作成

- 被災家屋の解体等が進み、昨年(R6年)にも増して、建て替え需要が増加している。【ハウスメーカー】
- リフォームについても震災関連の受注が増えており、大小規模の違いはあるが新築案件の概ね2倍くらいの件数がある。【ハウスメーカー】

6. 公共事業（石川県：前払金保証請負金額）

- 石川県の前払金保証請負金額は、震災以降、前年比増加が続いている
- 前年比は落ち着きつつあるが、足下では高水準にある



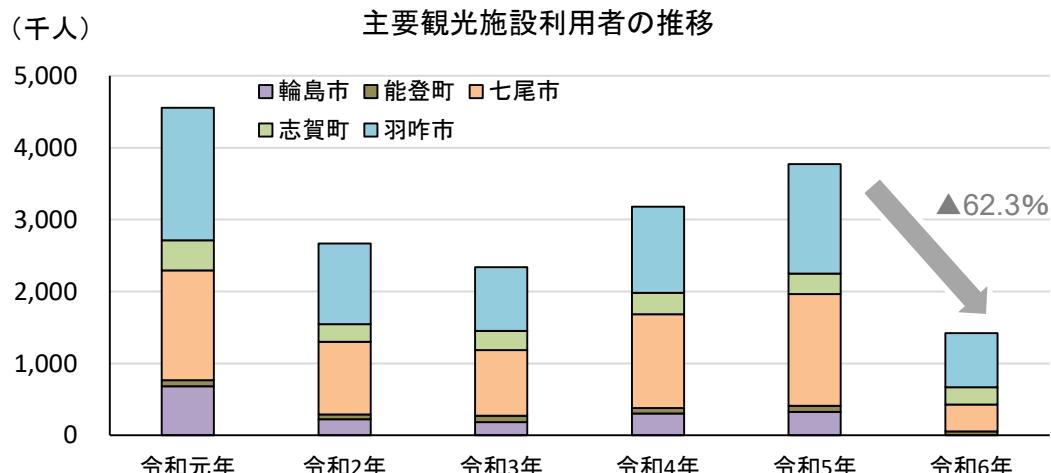
【出所】北海道建設業信用保証株、東日本建設業保証株、西日本建設業保証株資料
より当局作成

- 復旧需要で受注が増加しており、年明け(R8年)以降もこの状況は続く見込み。【建設】
- 建設業者は慢性的な人手不足に直面しており、外国人労働者を活用して対応している事業者も多い。【商工団体】

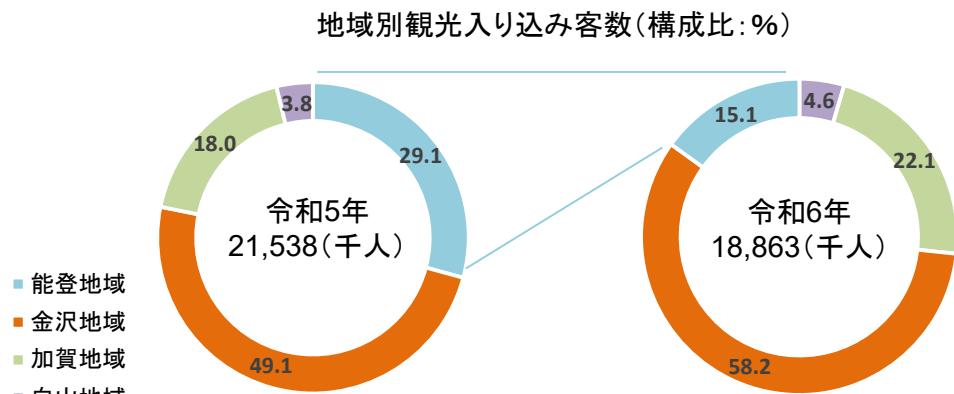
2 産業別の復旧・復興状況(観光地)

1. 能登地域の主要観光地の状況

- 震災直後は複数の観光施設が営業を停止したほか、営業再開後も旅行控えがみられたことから、令和6年の利用者数は大幅減
- 輪島市の観光施設は、火災や地震の被害が大きく、営業再開に至っていない施設も多い



【出所】 石川県「統計からみた石川県の観光」より当局作成

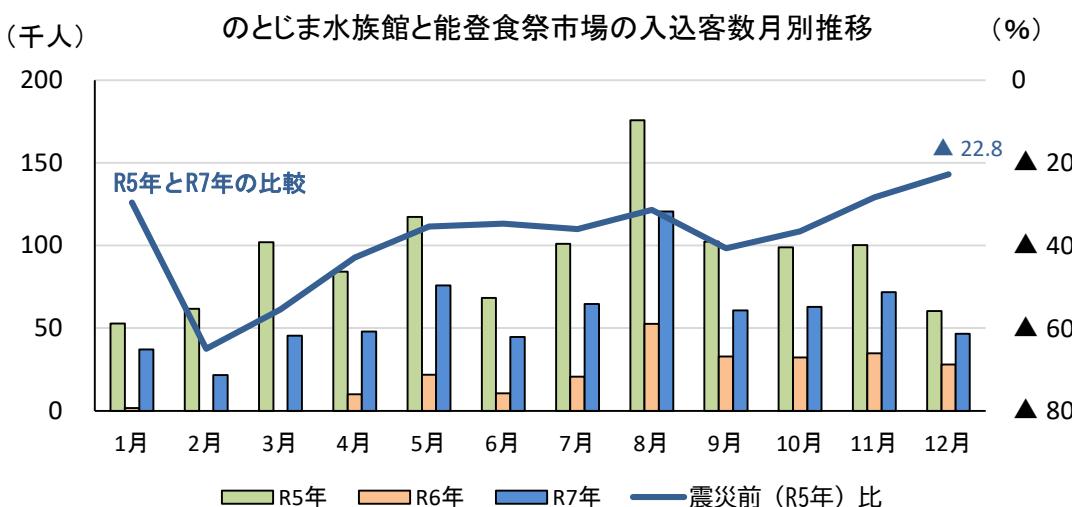


【出所】 石川県「統計からみた石川県の観光」より当局作成

【備考】 能登地域は宝達志水町以北、白山地域は白山市のうち旧松任市及び旧美川町を除いた地域（旧松任市及び旧美川町は金沢地域に含めた）

2. のどじま水族館・能登食祭市場の状況

- 震災の影響で大きく落ち込んだ令和6年と比較すると、令和7年の入込客数は大幅に増加
- 依然として震災前の水準には満たないものの、徐々に入込客数は戻りつつある



【出所】 のどじま水族館、能登食祭市場への聞き取りにより当局作成

● イベント開催時には客足の戻りを実感。震災前の水準に戻るには、和倉温泉の復旧・復興が重要。震災前から県外客が県内客を上回っているが、現在は県外の割合が減少しており、いかに県外客に来館していただくかが課題。【のどじま水族館】

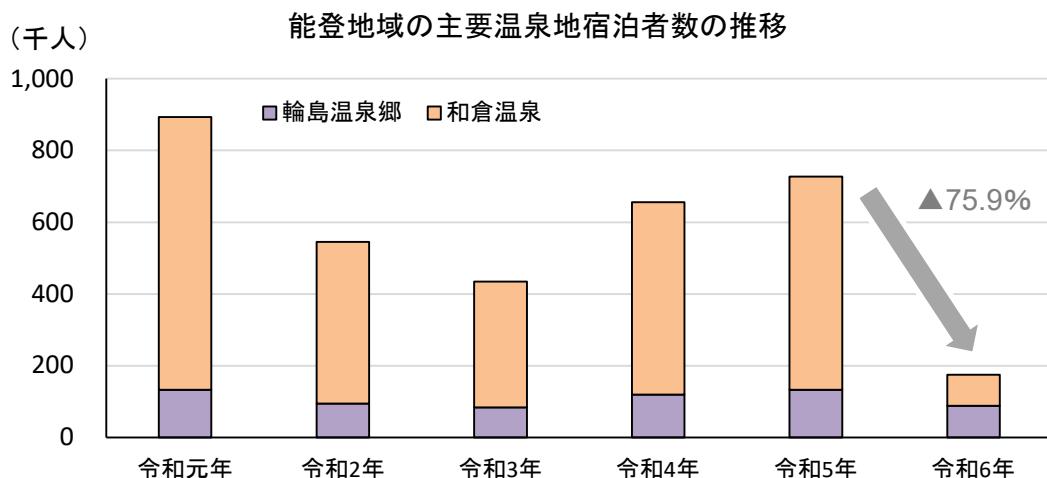
● 和倉温泉の旅館が再開し始めたことや、応援ツアーなどの企画により、徐々に客足が戻ってきている。未だに来場客の中心は個人客となっているが、岐阜や新潟などからの日帰りツアーもみられるようになってきた。【能登食祭市場】



2 産業別の復旧・復興状況(温泉地)

1. 能登地域の主要温泉地の状況

- 震災により、多数の旅館建物・敷地に甚大な被害が発生。和倉温泉地域では、ほぼすべての護岸が傾斜や倒壊の被害
- 休業を余儀なくされた旅館が多く、令和6年の宿泊者数は大幅に減少



【出所】 石川県「統計からみた石川県の観光」より当局作成



和倉温泉護岸の復旧工事

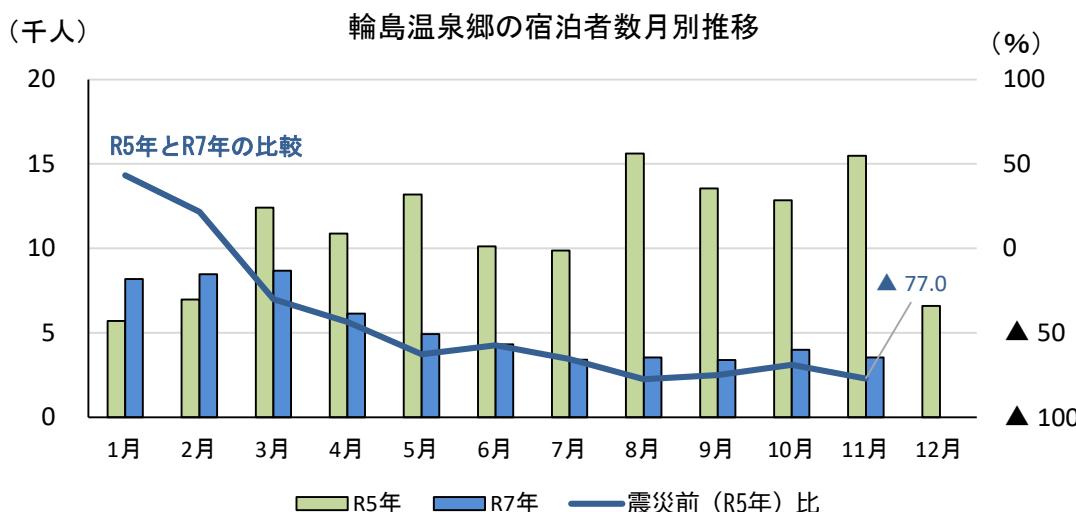


輪島市鳳至町上町の地震前後

【写真】(左)当局撮影、(右)石川県ホームページから

2. 輪島温泉郷の状況

- 多くの宿泊施設が休業しており、宿泊客数は震災前比で大幅な減少が続いている
- 再開の目途が立っていない施設もあり、観光客の受け入れが可能な宿泊施設は限定的



【出所】 北陸観光協会からの提供資料により当局作成

【備考】 R6年は未集計

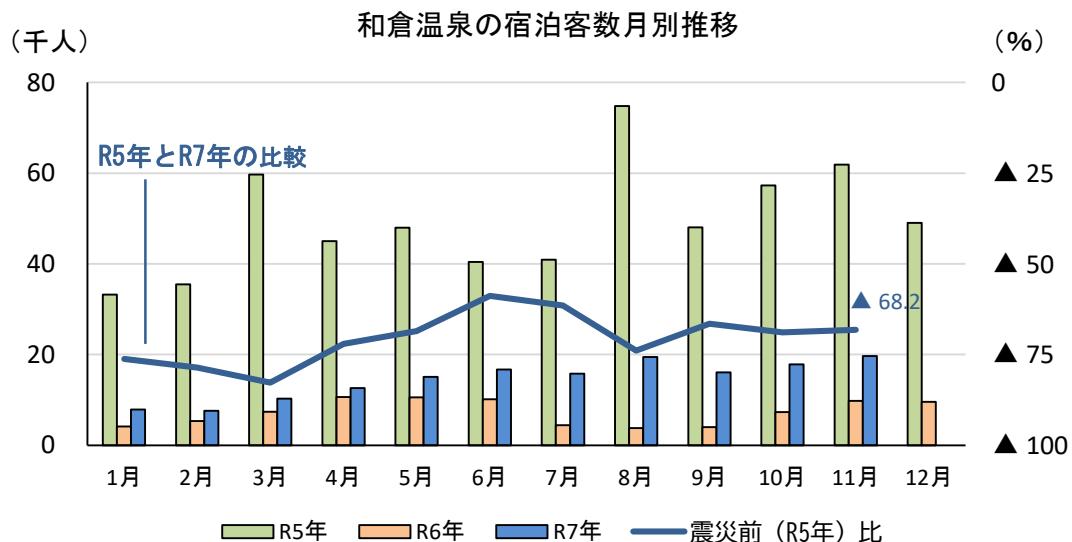
【輪島市観光協会】

- 多くの宿泊施設が休業もしくは廃業となる中、観光客を受け入れ可能な市内の宿泊施設は、当協会が把握している中では十数軒のみ。
- 稼働中の宿泊施設においても、多くは復旧支援者の方が宿泊しているほか、収容人数の多い施設も休業中のため、観光客の受け入れは限定的。
- 休業中の施設の中には、後継者問題や地盤調査が進んでいないなどの理由で、再開の目途が立っていない施設もあるが、再開に向けて前向きに取り組む施設もあり、観光協会としては一緒に誘客に取り組んでいきたい。

2 産業別の復旧・復興状況(温泉地)

3. 和倉温泉の状況

- 旅館の再開に伴い、宿泊客数は徐々に増加しているものの、依然として震災前の4割にも満たない水準
- 和倉温泉観光協会に加盟する20軒のうち、約半数の9軒が再開しているが、客室数は震災前の約3割程度にとどまっている



【出所】 北陸観光協会からの提供資料より当局作成

和倉温泉観光協会加盟 20軒	客室数 1,252室
一般営業再開・9軒	370室
湯の華	10室
味な宿 宝仙閣	22室
花ごよみ	10室
日本の宿 のと楽	150室
TAOYA Andon	101室
はまづる	24室
能州いろは	23室
ゆけむりの宿 美湾荘	11室
ホテル海望	19室

【和倉温泉旅館協同組合】

- 1日も早い再開に向けて、各旅館は努力しているものの、事業計画や見積書の作成に難航。
- 人のつなぎ止めも大きな課題。「雇用調整助成金」が12月末で終了したため、来年末まで延長された「産業雇用安定助成金」を活用すべく、在籍型出向を進めていくほかない。

【出所】 和倉温泉旅館協同組合への聞き取りにより当局作成（令和8年1月21日時点）

4. 「日本の宿 のと楽」の取組



(所在地) 石川県七尾市
(資本金) 20百万円 ※株式会社 のと楽
(客室数) 3棟170室
(従業員数) 約100名

昭和49年（1974年）創業、50年を超える歴史を持つ和倉温泉の老舗旅館。七尾湾を一望できるオーシャンビュー立地と能登の食材を盛り込んだ食事が特徴。

【全ての画像提供】(株)のと楽

I. 営業再開までの道のり

- ・能登半島地震により、特に本館や玄関、配管設備などが損傷
- ・地域の建設業者や電気工事業者の支援を受け、10ヶ月の休業を経て営業再開



令和6年1月1日
能登半島地震発生

令和6年11月1日
一般客の受入れを再開
1棟のみ50室稼働

令和7年8月
残りの2棟再開
計3棟150室稼働

※事業者・ボランティア向けの受入れは令和6年6月開始

II. 現状

※未稼働の20室は、本年2月末が工期

- ・宿泊客数は、GW頃から回復しだし、繁忙期となる11月以降は震災前の8割程度まで戻ってきている（前年の同時期は震災前の5割程度）
- ・ただし、客層については、県内の団体客が中心で、個人の観光客の戻りは鈍い

III. 今後の展望・課題

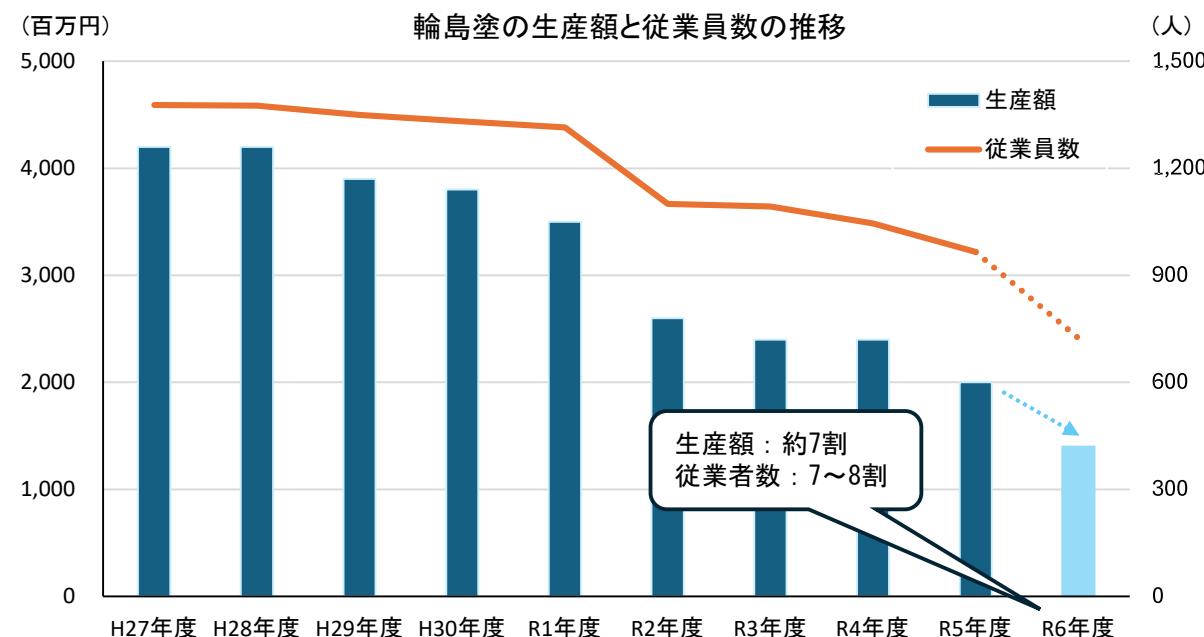
- ・震災以降、退職者が発生し、従業員数が減少。満室の予約となつても対応できずに断っている場合もある
⇒ 春から外国人スタッフを雇用、従業員を充足させることで、準備期間を経た夏場頃から震災前の水準を目指す
- ・和倉温泉で再開している旅館は未だ半数にも満たず、観光客の誘客が大きな課題
- ・営業再開できない施設の分まで能登の魅力を発信し、和倉温泉の復興に向けた能登観光の受け皿となりたい



2 産業別の復旧・復興状況(伝統産業・輪島塗)

● 輪島塗の状況

- 震災以前より従事者数は減少傾向にあったことに加え、輪島市外への避難を発端として戻れていない人も一定数存在しており、従業者数は震災前の7~8割となっている
- 作業場や材料、道具等の設備が損壊し、半年後に生産を再開したが、生産体制はまだ十分でなく、生産額は震災前の約7割にとどまっている



【出所】石川県「統計でみるいしかわ」と輪島漆器商工業協同組合への聞き取りにより当局作成

輪島塗の特徴

- 輪島産の珪藻土を焼成し粉碎した「地の粉」を混ぜた漆で下地を幾重にも塗り重ね、蒔絵や沈金で加飾することで生まれる堅牢さと優美さが特徴
- 分業で100以上の丁寧な工程を経て仕上げられ、修理が可能であり、長く使用することができる

【石川県】
輪島塗の若手人材の養成施設の整備等に関する基本構想
(令和7年8月)

- 輪島塗の専門技術や商品開発の指導をする養成施設を創設し、後継者を確保
- 海外での展示会やワークショップの開催等を通じて、海外販路を開拓
- 産業観光の観点から、観光客が製作体験ができるスペースや製造工程の展示、漆芸美術館、輪島塗会館等の施設や工房と連携したイベントを実施するなど、輪島塗の魅力を発信

【輪島漆器商工業協同組合】

- 大部分の事業所にとって、生産状況を被災前の状態に戻すことが、現在最も大きな課題。
- 復興支援による注文を多く受けたが、対応できる職人の数が限られており、受注残がある。漆器店と職人が連携して、生産工程の調整や工房の共有を行うとともに、後継者の確保・育成を進めることが重要。
- 以前より生産額は減少傾向にあり、国内の需要も縮小傾向にあるため、今後は海外への販路の拡大を進めていく。

3 事例紹介

●「田谷漆器店」の取組



TAYA-SHIKKITEN
Co.,Ltd.

【全ての画像提供】田谷漆器店

I. 被災から早期の販売再開へ

- ・工房と事務所兼ショールームからなる建物2棟が全壊。輪島朝市でオープンを控えたギャラリーが火災で全焼。
- ・修理品として預かっていた品物の被害が大きかった。



地震直後から沢山の方々から温かいメッセージが届く



田谷漆器店代表 田谷 昂大 氏

1月2日にSNSにて「必ず再建させます」と宣言し、前代表の父から33歳で代表を引き継ぐ。

早期の販売再開に向けたクラウドファンディングの実施

実施時期	目的	寄付額	使用用途	特徴
令和6年 1月13日 ～2月29日	1年半後の納品を想定した輪島塗の注文を受け、職人や漆器店を前に向ける。	約6,000万円	仮設工房の整備、返礼品の製作・発送費用等	被災事業所で最速。 田谷漆器店と各漆器店にて製造し、順次発送中。
令和6年 1月30日 ～3月31日	地震被害を免れた輪島塗を販売し、個々の事業者の早期の復活と輪島塗業界の長期的な復興を目指す。	約1,600万円	返礼品の製作・発送費用等	必要があれば修理を施し、復興を願うロゴマーク入りの輪島塗を返礼品とした。

II. 輪島塗をきっかけに能登半島全体の活性化へ

工房、ギャラリー、宿泊施設が一体化した観光施設 「WAJIMANURI VILLAGE」

・全壊した本社跡にトレーラーハウスを設置し、令和7年9月1日にオープン。

・工房では製作工程の見学ができる、ギャラリーでは輪島塗の器を手に取り、使用感を確かめて購入することができる。器を実際に使える宿泊施設は現在準備中。

・NTTドコモビジネス株式会社等と連携して、輪島塗の沈金体験ツアーの実証実験を予定。震災で被害を受けた観光業や輪島塗関連事業の再建に向け、インバウンドを含む観光コンテンツの創出を目指す。



III. 今後の展望

・震災後に生まれた漆器店や職人、漆芸技術研修所等との横のつながりを活かし、生産体制を落ち着かせ、支援者に恩返しをしていく。

・URCYLブランドと共同で新素材を用いた製品開発を進めており、令和8年1月にパリ国際見本市で新製品を出展。

・今後はヨーロッパを中心に海外展開を目指し、ミラノ見本市への出品を視野にランプシェードなどのインテリア用途での活用を検討している。



＜能登半島地震関連情報＞

■ 石川県「震災の記憶 復興の記録(<https://noto-archive.pref.ishikawa.lg.jp/>)」

- 能登半島地震、奥能登豪雨に関する写真・映像、資料等を掲載
- 国(内閣府、国土交通省、経済産業省など)の対応にかかるリンク掲載

＜観光関連情報＞

■ 石川県観光連盟「今行ける能登(<https://www.hot-ishikawa.jp/notofukko/index.html>)」

- 能登で今行ける施設やイベント情報等を配信
- 団体旅行応援キャンペーン(実施期間:R8.3.1～7.31)情報を掲載 ※県内外の旅行会社向け

■ 能登半島広域観光協会(<https://www.notohantou.com/>)

- 各市町の観光ガイドのサイトを掲載
- 『おもてなし半島能登(<https://www.notohantou.com/spot/>)』は、能登半島各地の見どころなどを紹介

■ のと里山空港利用促進協議会「ぶらり能登ねっと(<https://www.hot-ishikawa.jp/burarinoto/index.html>)」

- のと里山空港の運航情報(フライト情報)を掲載
- モデルコースや観光スポット、グルメスポット、宿泊施設などを紹介